

平成 30 年 第 4 回 定例市議会

教 育 行 政 報 告

恵庭市教育委員会

第4回定例会が開催されるに当たりまして、第3回定例会以降における教育行政執行の主なものについて、その概要を報告いたします。

学校教育施設の整備
について

はじめに、学校教育施設の整備について申し上げます。

防音機能復旧事業として、恵庭小学校講堂と若草小学校本校舎及び東校舎においてボイラーの更新工事が終了したところであります。

なお、煙突用断熱材にアスベストが含まれている若草小学校東校舎についてはボイラーの更新と併せて、和光小学校東校舎及び講堂と恵庭中学校東校舎及び講堂については煙突単独で除去工事を終了いたしました。

また、9月に発生した台風・地震による被害のうち、最大の被害でありました、松恵小学校の校舎屋根の復旧工事につきましては、年内に工事が終了する目処が立ったところであります。

今後も引き続き、安全安心な学校環境の整備に努めて参ります。

ヒューマン・コミュニケーション事業の
実施について

次に、ヒューマン・コミュニケーション事業の実施について申し上げます。

小中学生がより良い人間関係を築く上で大切なコミュニケーション力を高めるため、元鳥取大学医学部准教授の高塚人志氏に依頼し、昨年度に引き続き、赤ちゃん登校日などの体験型授業を実施しました。

特に柏陽中学校においては、3年生を対象に事前準備授業を含め4回の赤ちゃん登校日授業を実施し、協力していただいた赤ちゃん親子と生徒は大変生き生きと活動をして、人と人とのつながりの大切さをあらためて感じたところです。また、同授業の後継者として柏陽中学校に配置している学習支援員により、同校の1・2年生や恵北中学校、若草小学校の市内小中学校においても体験型のヒューマン・コミュニケーション授業を実施したところであります。

学校給食について

今後は、教職員向けにクラス作りを目的とした講座を実施していくとともに、後継者のスキルアップに努めて参ります。

次に、学校給食について申し上げます。

学校給食の施設や設備につきましては、衛生管理と事故の未然防止のため、計画的に整備・更新を行っており、秋季休業期間中には、中学校給食センターのスチームコンベクションオープン等の更新をしたところではあります。

また、学校給食による食育の推進につきましては、11月4日に北海道文教大学と（一財）恵庭市学校給食協会との共催により、小学生の親子による「食育教室2018」を39名の参加のもと開催し、地元産食材を使った料理を作り会食するなど、作る楽しさや恵庭の食材の豊かさなどを体験していただいたところです。

市民文化祭について

次に、市民文化祭について申し上げます。

10月から11月にかけて、市民による実行委員会主催により、市内の文化団体やサークル等が日頃の活動成果を発表し、文化芸術活動の推進を図ることを目的とする市民文化祭が開催されました。市民会館、島松公民館、夢創館を会場に、書道、華道、絵画などの展示発表及び詩吟、民謡、ダンスなどの舞台発表が行われ、多くの市民で賑わったところです。

地区会館等の整備について

次に、地区会館等の整備について申し上げます。

現在、柏陽会館・有明会館・寿町会館の畳更新事業、有明会館の内部改修工事、アスベスト含有煙突用断熱材の除去工事も含めた東恵庭会館の暖房機更新工事を進めているところであり、いずれも年内終了の予定となっております。

文化功労者等表彰に
ついて

次に、文化功労者等表彰について申し上げます。

本年度の文化功労者・青少年表彰につきましては、11月3日に市民会館においてスポーツ功労者も含めた合同表彰式を実施し、文化功労者に4個人、青少年表彰に2個人の方々を顕彰させていただきました。

青少年健全育成事業
について

次に、青少年健全育成事業について申し上げます。

11月の秋の恵庭市青少年育成強調月間に、恵庭市青少年育成市民の会では、市民啓発のチラシを配布するとともに、11月17日に「未来へ響け！若者たちのメッセージ！」をメインテーマに「恵庭市青少年育成市民のつどい」を開催いたしました。

姉妹都市ティマル市へ派遣した中学生・高校生の報告、中学生生活体験発表、加盟団体等によるアトラクション及び活動発表等を行い、若者たちの意見や考えに耳を傾け理解を深め、地域における青少年育成活動の一層の推進を図ったところであります。

読書活動の推進につ
いて

次に、読書活動の推進について申し上げます。

10月の「人とまちを育む読書推進月間事業」として、本のリサイクル市、まちじゅう図書館スタンプラリー、図書館まつりが行なわれました。特に、図書館まつりにおいては、イシカリ150絵本プロジェクト贈呈式や絵本作家サトシン氏の地震災害復興支援事業の絵本ライブが行なわれ、1,400人以上の方にご参加いただきました。

また、第9回恵庭市小中学生調べる学習コンクールには、市内児童生徒から500点を超える応募があり、11月23日に表彰式を行なったところです。

読書活動に係る研修
事業について

次に、読書活動に係る研修事業について申し上げます。

10月26日に、指定管理者である恵庭市立図書館司書と学校司書による初めての合同研修会を実施し、図書館司書が展示の方法を、学校司書がブックトークの方法をレクチャーし、互いに学びあう機会としました。

今後も指定管理者と連携を図りながら市立図書館や学校図書館などにおいて、更なる読書活動の推進を図って参ります。

郷土資料館事業につ
いて

次に、郷土資料館事業について申し上げます。

学校で行われる「ふるさと教育」の一環として、市内8小学校の協力のもと6月から取り組んだ「ふるさと教育宅配事業」は、10月末に無事終了いたしました。

また、郷土資料館では、9月15日から10月28日まで企画展「道央の先史時代のアクセサリー」を開催いたしました。さらに同時期の9月29・30日に「化石クリーニング体験」を、10月5日から8日まで「昔の道具体験」を開催し、多くの参加をいただいたところです。9月29日に市民の学習機会の提供を目的として開催した「遺跡見学会」では、小学生2名を含む24名の方々が参加し、苫小牧市の遺跡や博物館などを見学していただきました。

埋蔵文化財保護と史跡整備への理解を深める事業としては、9月30日から10月8日まで、牧場の埋蔵文化財整理室を会場に企画展「特別公開2018 カリンバ遺跡重要文化財漆塗り装身具」及び「市内遺跡ミニ展示」を開催し、市内はもとより道内外から104名の方々にお越しいただきました。11月18日には、「アイヌ文化の始まりと変遷を探る ～厚真町の遺跡発掘から～」と題して第5回カリンバ講演会を開催いたしました。

以上、平成30年第3回定例会以降における教育行政執行の主なものについて、その概要を報告いたしました。

今後とも、恵庭市の教育水準向上のため一層の努力を重ねて参る所存でありますので、議員各位のご指導とご協力をお願い申し上げ、教育行政報告といたします。